



伊藤社長(左)と齋藤部会長(右)

お客様第一主義から生まれた「歩くデパート」

伊藤屋株式会社は、贈答品の総合商社として、現・伊藤邦夫社長が1999年に創業。冠婚葬祭をはじめ、様々な場面の贈り物を手掛け、特に仏事に関しては、京都市域や周辺エリアにおいて広いシェアを誇っています。こうした同社の事業を支えるのが「お客様第一主義」。伊藤社長は「365日体制で営業するのはもちろんのこと、忙しいお客様に来ていただくのではなく、お客様のところに訪問する方針を徹底しています。直接お話しさせていただくことで、お客様の細かいニーズにまでお応えすることができるよう。うちの社員は様々なご要望に対応できる『歩くデパート』なんです」と言います。

こうした営業活動はB to Bにおいても信頼を集め、同社の方針は法人の取引先からも信頼を集め、用途に合わせて一からデザインまで携わることで、企業のノベルティや記念品などの注文も伸ばしています。また、2006年には、高齢化社会のニーズに応えていくため介護福祉事業に参入し、デイサービスや訪問看護事業等も運営しています。

こんにちは!
〇〇部会です

部会長の部会員訪問
サービス産業部会

人と人との
つながりを大切にする
会社を目指して
伊藤屋株式会社

会員との“つながり”拡充を目的に、本所の12部会の部会長が部会員の皆さまを訪問しております。最終回となる今回は、サービス産業部会の齋藤茂部会長が伊藤屋株を訪問し、伊藤社長にお話を伺いました。

業界初の試みにチャレンジ

同社は、100年以上の歴史を持つ「京の老舗」として京都府から表彰を受けた京都企業の商品を詰め合せとして販売を始めたところ、都内外から予想を上回る注文を受けています。「京都の老舗の味が楽しめる詰合せがあったらいいな」というお客様の声をカタチにしました。おそらく業界初だと思いますが、京都の良質な商品をもっと知ってもらいたいという思いが強くなりました」と語る伊藤社長ですが、事業化できたのは様々な困難を乗り越えた結果だと話していただきました。

また、京商の事業についても「サービス産業部会はいろいろな業界の人とつながりができるので参加しています。先輩経営者や仲間からの応援や言葉は本当に励みになります」と伊藤社長。

齋藤部会長からは「ユーザー目線の新しい発想と、商品化までやり遂げるチャレンジ精神は京商のテーマである知恵ビジネスにも通じると思います。本部会では、チャレンジする部会員事業者を応援するために、情報の共有化と様々な交流の場を提供していくので、今後ぜひ活用してほしい」とエールを送りました。

サービス産業部会のご紹介

〈部会長〉齋藤 茂 (株式会社トーセ 代表取締役社長)
〈部会員数〉1625件 (2013年4月23日現在)

サービス産業部会は業種が広範に及ぶ1600名余の部会員によって構成されており、現在、本所で最も多くの部会員が所属しています。“情報の共有化”を部会活動のキーワードに置き、有意義でタイムリーな情報提供を行うとともに、部会員同士の交流の輪を広げるため、活発な部会活動を行っていますので、ぜひご参加ください。

【サービス産業部会の事業予定】

★研修会 ★セミナーやシンポジウム・情報交換
★年末講演会・忘年会 ★ゴルフコンペ など

【お問合せ】

サービス産業部会 事務局
(京都商工会議所 企画総務部)
TEL : 075-212-6403
E-mail : soumu@kyo.or.jp